

## 当社取締役会の実効性に関する評価結果の概要について



当社は、「コーポレートガバナンス・コードに関する当社の取組み」におきまして、毎年3月に取締役、監査役及び執行役員に対し「取締役会全体の実効性に係る自己評価アンケート」を実施し取締役会全体の実効性について分析・評価を行う旨、定めております。

2024年4月12日開催の取締役会において当該自己評価アンケートの結果確認及び意見交換を行いましたので、下記のとおりその概要をお知らせいたします。

## 記

## 1. 評価の方法・プロセス

## (1) 実施目的

取締役会全体の実効性について継続的に評価を行い、当該評価を踏まえ、PDCA サイクルを実現することで、取締役会の機能の向上を絶えず図っていくこと

## (2) 実施方法

- アンケート形式（選択及び記述式）にて実施
- アンケートは無記名で「取締役」、「社外取締役」、「監査役」、「執行役員」のみ記載

## (3) 回答者属性（2024年3月31日時点）

属性	人数
取締役	12名
うち社外取締役	4名
監査役	4名
執行役員	9名

## (4) 主な評価項目（大項目）

- 取締役会の役割・責務について
- 取締役会の実効性確保の前提条件について
- 取締役会の運営について
- 自己評価について
- 独立社外取締役及び監査役について
- ガバナンスについて
- サステナビリティについて
- 資本コストと株価を意識した経営について

## 2. 取締役会の実効性に関する自己評価の結果

## (1) 自己評価の結果（概要）

上記の自己評価アンケートの結果、当社の取締役会は概ね適切に機能しており、取締役会の実効性が確保されていることを確認いたしました。特に、取締役会の役割・責務については、会社の目指すところ（企業目標・経営理念等）への理解があり、取締役会の運営については、質の高い情報が提供されており議案内容が明確であるため高評価となりました。一方、サステナビリティについては、今後も中長期的な企業価値向上に向けて具体的な取り組みを検討する必要があるという意見がありました。

## (2) 筆頭独立社外取締役の総括コメント

取締役会では明確な会社のビジョンに基づいた中長期戦略の決定、実行、監督が行われております。絶えず中長期的な企業価値の向上を目指し、コーポレートガバナンスを意識した議論・意見交換が活発に行われております。また、取締役の選任・報酬は独立性の高い諮問機関の指名・報酬委員会において審議されて取締役会に答申することにより、客観性・透明性を確保しております。今後は、資本コスト経営、サステナビリティ経営をより一層浸透させることが重要になってくるかと思っております。

## 3. 今後の対応

当社は、今後も取締役会の実効性に関する評価を定期的実施し、ガバナンスの強化を推進してまいります。

以上